

2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月13日

上場会社名 株式会社ライフドリンク カンパニー 上場取引所 東
コード番号 2585 URL https://www.ld-company.com/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡野 邦昭
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 清水 大輔 TEL 06-6453-3220
定時株主総会開催予定日 2025年6月25日 配当支払開始予定日 2025年6月26日
有価証券報告書提出予定日 2025年6月24日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期の連結業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年3月期	44,537	16.5	4,742	0.6	4,712	2.3	3,392	7.5
2024年3月期	38,236	26.4	4,712	51.2	4,606	51.0	3,155	52.0

（注）包括利益 2025年3月期 3,334百万円（△4.7％） 2024年3月期 3,498百万円（65.3％）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2025年3月期	64.93	64.84	26.5	14.8	10.6
2024年3月期	60.68	60.34	32.4	17.4	12.3

（参考）持分法投資損益 2025年3月期 13百万円 2024年3月期 11百万円

（注）当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。そのため前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年3月期	33,207	14,230	42.9	272.29
2024年3月期	30,646	11,342	37.0	217.18

（参考）自己資本 2025年3月期 14,230百万円 2024年3月期 11,342百万円

（注）当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。そのため前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	5,204	△4,099	△1,826	3,014
2024年3月期	4,610	△8,770	3,553	3,736

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2024年3月期	—	0.00	—	37.00	37.00	483	15.2	4.9
2025年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00	627	18.5	4.9
2026年3月期（予想）	—	0.00	—	14.00	14.00		16.4	

（注）当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っており、2024年3月期の1株当たり配当額につきましては、当該株式分割前の金額を記載しております。2025年3月期の1株当たり配当額については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2025年3月期の期末配当金は1株当たり48円00銭であります。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	16.8	6,500	37.1	6,400	35.8	4,450	31.2	85.14

（参考）EBITDA 2026年3月期通期 8,600百万円（31.1％）

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年3月期	52,264,664株	2024年3月期	52,227,180株
2025年3月期	320株	2024年3月期	208株
2025年3月期	52,252,768株	2024年3月期	52,011,264株

（注）当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。そのため前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

（参考）個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	40,421	18.9	4,636	4.7	4,610	7.2	3,281	11.1
2024年3月期	33,993	15.9	4,428	40.8	4,301	40.2	2,954	38.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	62.80	62.71
2024年3月期	56.81	56.49

（注）当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。そのため前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	31,006	13,903	44.8	266.01
2024年3月期	29,400	11,126	37.8	213.04

（参考）自己資本 2025年3月期 13,902百万円 2024年3月期 11,126百万円

（注）当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。そのため前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料については、決算発表後に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 企業集団の状況	4
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
4. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報の注記)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2024年4月1日～2025年3月31日）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善による個人消費の持ち直しの動きなど、緩やかな景気の回復が見られました。しかしながら、原材料・資材価格の高止まりや各種コストの増加を背景とした物価上昇に加え、欧米との金利差に起因する為替市場の動向や米国政権交代に伴う通商問題の再燃などにより、先行き不透明な状況が続いています。

このような事業環境のもと、当社は「高品質で価格競争力を持った商品」の供給を強みとして、御殿場工場の早期フル生産化への取り組みや新たなM&Aを通じた生産量の拡大及び販売先の確保に努めてまいりました。また、M&A後のシナジー効果の最大化に向けた取り組みやEC/D2C（※）モデルへのチャレンジを進めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の経営成績は売上高が44,537百万円（前期比16.5%増）、営業利益が4,742百万円（同0.6%増）、EBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）が6,560百万円（同12.3%増）、経常利益が4,712百万円（同2.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益が3,392百万円（同7.5%増）となりました。なお、当社グループはドリンク・リーフ事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

※ D2C：「Direct to Consumer」の略。消費者に対して製品を直接販売するビジネスモデルのことを指します。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は12,443百万円で、前連結会計年度末に比べて690百万円増加しております。これは、主に「商品及び製品」が758百万円増加、「原材料及び貯蔵品」が196百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は20,763百万円で、前連結会計年度末に比べて1,870百万円増加しております。これは、主に「機械装置及び運搬具」が5,139百万円増加、「建設仮勘定」が3,039百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は10,811百万円で、前連結会計年度末に比べて3,165百万円増加しております。これは、主に「短期借入金」が2,290百万円増加、「未払金」が571百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債は8,165百万円で、前連結会計年度末に比べて3,492百万円減少しております。これは、主に「長期借入金」が3,420百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は14,230百万円で、前連結会計年度末に比べて2,888百万円増加しております。これは、主に「親会社株主に帰属する当期純利益」の計上に伴い「利益剰余金」が2,909百万円増加、「繰延ヘッジ損益」が58百万円減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は3,014百万円となり、前連結会計年度末比で721百万円減少しております。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは5,204百万円の収入（前連結会計年度は4,610百万円の収入）となりました。これは、主に税金等調整前当期純利益4,703百万円、減価償却費1,807百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは4,099百万円の支出（前連結会計年度は8,770百万円の支出）となりました。これは、主に御殿場新工場の立上げなどの設備投資に伴う有形固定資産の取得による支出3,424百万円、補助金の受取による収入1,063百万円、事業譲受による支出1,600百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1,826百万円の支出（前連結会計年度は3,553百万円の収入）となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出4,369百万円、短期借入金の純増加による収入2,290百万円、配当金の支払額483百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループは、「Max生産Max販売（自社飲料工場における1本当たりコストの極小化を目的としたフル生産化（＝Max生産）及びMax生産に対応した販売先の確保（＝Max販売）」のしんか（進化/深化）を経営方針として掲げています。具体的には、既存工場の生産能力増強や御殿場新工場の立ち上げ、M&Aによる生産能力獲得など様々な取り組みを進めてまいりました。

今後も自社飲料における「Max生産Max販売」の更なるしんか（進化/深化）に向けて、自社グループ飲料工場の設備更新・改良による生産能力増強や人員増強によるフル生産化に加えて、既存工場のライン増設や新工場建設、M&Aによる生産能力獲得などに取り組んでまいります。

これらの取り組みにより、2026年3月期につきましては売上高52,000百万円（前期比16.8%増）、営業利益6,500百万円（同37.1%増）、EBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）8,600百万円（同31.1%増）、経常利益6,400百万円（同35.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益4,450百万円（同31.2%増）を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、事業発展及び経営基盤強化に向けた内部留保の充実を最優先事項としつつ、株主還元策として安定配当を実施する方針であります。具体的には、1株当たり当期純利益に対する配当性向20%を目安として配当を目指していく方針であります。

当期の期末配当につきましては、上記の方針に基づき、業績の状況及び経営環境等を勘案した結果、1株当たり12円の配当を実施することを予定しております。なお、当期の1株当たり当期純利益に対する配当性向（※）は18.5%であります。

次期の配当につきましては、1株当たり年間14円を予定しております。

※ 1株当たり当期純利益に対する配当性向は、1株当たり年間配当金を1株当たり当期純利益で除することで算出しております。

2. 企業集団の状況

当社グループは、当社、子会社2社及び関連会社1社の4社で構成され、清涼飲料(ドリンク)及び茶葉(リーフ)の製造販売を営んでおります。

当社グループの事業に係る位置付け及びセグメントとの関連は、以下のとおりであります。

事業区分	会社名	当社との関係	主な事業内容、製造品目等
ドリンク・リーフ	株式会社ライフドリンク カンパニー	当社	清涼飲料(ドリンク)及び茶葉(リーフ)の製造・仕入・販売 ＜主な製造品目＞ 水飲料(2L/500ml)、茶系飲料(2L/500ml)、炭酸飲料(500ml)
	ニッソービバレッジ株式会社	子会社	清涼飲料(ドリンク)の製造・販売
	Oビバレッジ株式会社	子会社	清涼飲料(ドリンク)の製造・販売
	生駒名水株式会社	関連会社	清涼飲料(ドリンク)の製造・販売

当社グループは、清涼飲料(ドリンク)及び茶葉(リーフ)の製造・仕入・販売を行っており、特に当社の自社飲料(自社生産の飲料)ビジネスが当社グループの最も重要な事業となっております。

当社の自社飲料ビジネスの特徴としては、①少品種大量生産、②調達から販売までの内製化、③工場の全国展開が挙げられます。これらにより、安定した品質の確保、低価格での製品提供、供給量の確保及び天災等への供給柔軟性の確保を実現し、高品質・低価格・大量かつ安定した供給を求める様々な小売業態の主要各社と強固なパートナーシップを構築することができております。具体的には、総合スーパー、食品スーパー、ディスカウントストア、ドラッグストア及びホームセンターなどに対してプライベートブランド商品及び当社ブランド商品の両方で継続的な取引を実現しております。

また、競合各社との比較として、大手飲料メーカーに対しては「価格の優位性」を、地方・地場飲料メーカーに対しては「価格の優位性」及び「規模の優位性(供給力、全国各地の小売拠点への対応)」を有していると考えております。

① 少品種大量生産

当社は自社工場で生産する製品を水飲料(2L/500ml)、茶系飲料(緑茶・烏龍茶)(2L/500ml)、炭酸飲料(500ml)に絞っております。この液種及び容量を絞った少品種大量生産により、各工場の生産ラインにおける生産品目の切替時間の極小化及び原材料・資材の共通化による仕入コスト抑制を実現しております。

② 調達から販売までの内製化

当社はレジンや茶葉といった原材料の調達から、ペットボトル成型や茶葉の焙煎といった中間工程、飲料製品の充填・包装といった製品化工程、販売までを内製化しております。この内製化により、トレーサビリティを担保するとともに提供する製品品質の安定性の確保及び外部委託した場合に各工程において発生するマージンの削除による製品原価の低減を実現しております。

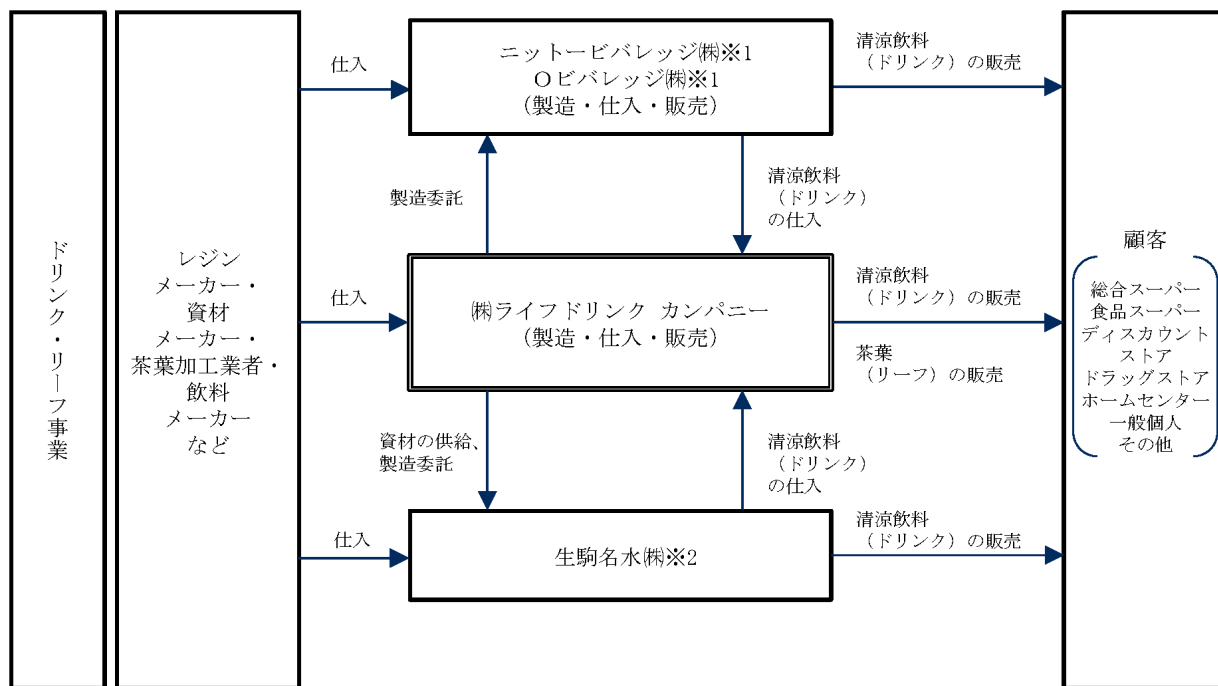


③ 工場の全国展開

当社グループは、岩手県から宮崎県まで、日本全国に飲料工場を展開しております。この工場の全国展開により、天災発生等による供給停止リスクの低減(供給の安定性確保)及び消費地への物流コストの低減を実現しております。

また、広域な地域で安定的に製品を供給できる体制により、全国展開する小売企業との取引を可能にしております。

[事業系統図]



※1 連結子会社
※2 持分法適用会社

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年 3 月31日)	当連結会計年度 (2025年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,736	3,014
受取手形	11	—
電子記録債権	99	14
売掛金	4,764	4,852
商品及び製品	1,495	2,254
仕掛品	130	123
原材料及び貯蔵品	735	931
その他	811	1,281
貸倒引当金	△31	△28
流動資産合計	11,753	12,443
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,712	6,962
機械装置及び運搬具（純額）	3,213	8,353
土地	2,960	2,692
リース資産（純額）	586	391
建設仮勘定	4,438	1,398
その他（純額）	86	176
有形固定資産合計	17,998	19,975
無形固定資産	229	310
投資その他の資産		
投資有価証券	109	123
繰延税金資産	162	125
その他	392	232
貸倒引当金	—	△3
投資その他の資産合計	665	478
固定資産合計	18,893	20,763
資産合計	30,646	33,207

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,738	1,759
短期借入金	1,000	3,290
1年内返済予定の長期借入金	969	1,020
未払金	2,299	2,871
未払法人税等	601	870
賞与引当金	78	92
役員賞与引当金	12	—
その他	945	905
流動負債合計	7,645	10,811
固定負債		
長期借入金	11,305	7,884
繰延税金負債	2	0
退職給付に係る負債	25	65
その他	324	215
固定負債合計	11,657	8,165
負債合計	19,303	18,976
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,095	1,114
資本剰余金	1,279	1,297
利益剰余金	8,584	11,494
自己株式	△0	△0
株主資本合計	10,959	13,906
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	383	324
その他の包括利益累計額合計	383	324
純資産合計	11,342	14,230
負債純資産合計	30,646	33,207

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	38,236	44,537
売上原価	21,901	25,081
売上総利益	16,334	19,456
販売費及び一般管理費	11,622	14,714
営業利益	4,712	4,742
営業外収益		
受取利息及び配当金	5	0
受取補償金	7	22
為替差益	15	19
補助金収入	12	34
持分法による投資利益	11	13
その他	19	16
営業外収益合計	71	107
営業外費用		
支払利息	58	107
その他	119	30
営業外費用合計	177	138
経常利益	4,606	4,712
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	0	—
補助金収入	13	1,063
負ののれん発生益	—	43
特別利益合計	14	1,108
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	41	55
固定資産圧縮損	13	1,062
減損損失	34	—
特別損失合計	91	1,117
税金等調整前当期純利益	4,529	4,703
法人税、住民税及び事業税	792	1,199
法人税等調整額	580	111
法人税等合計	1,373	1,310
当期純利益	3,155	3,392
親会社株主に帰属する当期純利益	3,155	3,392

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	3,155	3,392
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	—
繰延ヘッジ損益	343	△58
その他の包括利益合計	343	△58
包括利益	3,498	3,334
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,498	3,334
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,071	1,254	5,791	△0	8,117
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	8	8			16
譲渡制限付株式報酬	16	16			32
剰余金の配当			△363		△363
親会社株主に帰属する当期純利益			3,155		3,155
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	24	24	2,792	△0	2,841
当期末残高	1,095	1,279	8,584	△0	10,959

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	0	40	40	8,157
当期変動額				
新株の発行(新株予約権の行使)				16
譲渡制限付株式報酬				32
剰余金の配当				△363
親会社株主に帰属する当期純利益				3,155
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△0	343	343	343
当期変動額合計	△0	343	343	3,184
当期末残高	—	383	383	11,342

当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,095	1,279	8,584	△0	10,959
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	0	0			0
譲渡制限付株式報酬	18	18			36
剰余金の配当			△483		△483
親会社株主に帰属する当期純利益			3,392		3,392
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	18	18	2,909	△0	2,947
当期末残高	1,114	1,297	11,494	△0	13,906

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	—	383	383	11,342
当期変動額				
新株の発行 (新株予約権の行使)				0
譲渡制限付株式報酬				36
剰余金の配当				△483
親会社株主に帰属する当期純利益				3,392
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	—	△58	△58	△58
当期変動額合計	—	△58	△58	2,888
当期末残高	—	324	324	14,230

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,529	4,703
減価償却費	1,129	1,807
のれん償却額	—	9
減損損失	34	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	—
引当金の増減額 (△は減少)	7	2
固定資産売却損益 (△は益)	1	△1
補助金収入	△13	△1,063
固定資産除却損	41	55
固定資産圧縮損	13	1,062
負ののれん発生益	—	△43
売上債権の増減額 (△は増加)	△478	19
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△479	△930
仕入債務の増減額 (△は減少)	150	60
その他	290	482
小計	5,226	6,163
利息及び配当金の受取額	4	0
利息の支払額	△58	△112
補助金の受取額	22	30
法人税等の支払額	△584	△877
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,610	5,204
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,697	△3,424
補助金の受取額	—	1,063
事業譲受による支出	—	△1,600
その他	△72	△138
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,770	△4,099
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,000	2,290
長期借入れによる収入	7,200	1,000
長期借入金の返済による支出	△969	△4,369
リース債務の返済による支出	△300	△258
配当金の支払額	△363	△483
その他	△12	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,553	△1,826
現金及び現金同等物に係る換算差額	16	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△589	△721
現金及び現金同等物の期首残高	4,326	3,736
現金及び現金同等物の期末残高	3,736	3,014

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループはドリンク・リーフ事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	217円18銭	272円29銭
1株当たり当期純利益	60円68銭	64円93銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	60円34銭	64円84銭

(注) 1. 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。そのため前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	11,342	14,230
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	11,342	14,230
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数(株)	52,226,972	52,264,344

3. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	3,155	3,392
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	3,155	3,392
普通株式の期中平均株式数(株)	52,011,264	52,252,768
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	294,780	75,329
(うち、ストック・オプション(株))	(294,780)	(75,329)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式 の概要	—	—